

平成27年度「若手教員等研究支援費（若手教員等支援枠）」研究成果報告書

研究課題	自律を目指した英語授業モデルの効果検証と再構築		
氏名	白倉美里	所属 人文社会科学系 英語科教育学分野	職名 講師
CITI Japan 研究倫理 e-ラーニングプログラムの受講		<input checked="" type="checkbox"/> ←受講済の場合はチェックをすること	
<p>【研究成果の概要】 (文字の大きさ9ポイント・字数800字～1600字程度)</p> <p>本研究では、自律的に学ぶ学習者の育成のための英語指導モデルの構築を目指して、公立高校での授業実践を通して、生徒の英語学習に対する自律意識がどのように育ったかについて検証した。生徒の自律意識の変化を調べるために、本研究と同様に自律の育成を目指した授業実践を行った先行研究 (Little, Ridely, Ushioda, 2002) で使用されたアンケートを元に日本語版を作成した。</p> <p>本研究で授業実践を担当した著者が受け持った高校2年生全員を対象に、年度当初(5月)、1学期末(7月)、2学期末(12月)、年度末(3月)にアンケート調査を実施した。4回分すべてのアンケートデータが確保できた生徒のみを分析対象とし、最終的な分析対象者は97名であった。</p> <p>アンケートの Part 1 では、9つの英語学習に対する意識について、5段階評価(5: 強く思う ～ 1: まったくそう思わない) で回答した。9つの項目(1. 外国語の勉強は難しい。2. 先生が授業中にできるだけ多く英語で話してくれると、英語の勉強に役立つ。3. 間違った英語を話すくらいだったら、話さない方がよい。4. 英語学習でもっとも大切なのは、文法だ。5. 英語を聞いたり話したりするよりも、読んだり書いたりする方がより簡単だ。6. 英語は他の科目よりも難しい。7. 英語を勉強するには、とても頭がよくなければならない。8. 知性(=頭の良さ)というものは、生まれ持って身につけているものなので、変えられない。9. 英語がうまくなるには、授業外にも自分で勉強する必要がある。)のうち5つ(項目2, 3, 4, 5, 9)が「言語学習プロセスおよび学習スキルに対する意識」を、2つ(項目1, 6)が「英語学習の難しさに対する意識」を、残りの2つ(項目7, 8)が「英語学習における知性の役割に対する意識」についての記述であった。反復測定分散分析の結果、年度当初と比べて変化が見られた項目は、項目2と項目3であった。その後の検定の結果、項目2については年度当初と年度末、2学期末と年度末の間に統計的に有意な伸びが見られた。この結果から、本研究の授業実践に見られるような「見通しを立てる→目標達成のための言語活動を行う→振り返りを行う」というサイクルを通して、授業中に教師が英語をできるだけ多く使うことを、生徒たちがより前向きに捉えるようになったと言える。項目3については、年度末の回答平均値が他の3回と比べて有意に下がった。つまり、間違いを恐れずに英語を話そうという意識が高まったと言える。授業中に行ったグループでの言語活動を通して、生徒が互いに助け合い、学び合う経験をしたことが、生徒の意識の変化をもたらしたと推察できる。アンケートの Part 2 では、生徒が普段どのように授業内外の学習に取り組んでいるかをたずねている。12個の学習行動(詳細略)について、生徒は5段階評価(5: いつもやる～1: 一度もやったことがない)で回答した。反復測定分散分析の結果、年度当初と比べて変化が見られたのは、項目1, 項目6, 偏$\eta^2=0.0347$), 項目7, 項目8, 項目9, 項目10, 項目11であった。その後の検定の結果、項目1と項目7については、年度当初と2学期末の間で平均値に有意な伸びが見られた。項目1については、プログレスカードを使用した授業実践を通して、生徒自らが授業の振り返りをする習慣が身についたことの現れであると言える。項目7についても、返却されたプリントを見直すことで自身の学習の振り返りをしていると解釈できる。項目6, 項目9, 項目10, 項目11については、いずれも年度当初から2学期末、さらに年度末にかけて平均値に有意な伸びが見られ、項目8については年度当初と年度末の間で有意な伸びが見られた。これはつまり、年度当初から1学期末にかけては伸びが見られなかったが、授業を受け続けて半年以上経ったあたりから、徐々に生徒の意識に変化が現れたということを示している。このことは、授業実践の効果が確認されるまでには一定の期間が必要であることを示している。</p>			
<p>【研究成果発表方法】</p> <p>英語授業研究会の学会誌に論文を投稿。現在審査中。</p>			